

平成 14 年 3 月期 中間決算短信 (連結)

平成 13 年 11 月 21 日

会 社 名 株式会社 シーマ (旧 株式会社 シーマプライダル) 登録銘柄
 コード番号 7638 本社所在都道府県 東京都
 本社所在地 東京都中央区銀座 2 丁目 6 番 3 号
 問い合わせ先 責任者役職名 取締役社長
 氏 名 白石幸栄 TEL (03) 3567-8091

決算取締役会開催日 平成 13 年 11 月 12 日

米国会計基準採用の有無 無

1. 13 年 9 月中間期の連結業績 (平成 13 年 4 月 1 日～平成 13 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
13 年 9 月中間期	1,968	(15.3)	143	(—)	139	(—)
12 年 9 月中間期	1,707	(—)	9	(—)	2	(—)
13 年 3 月期	3,610	(0.5)	231	(△ 67.6)	212	(△ 68.4)

	中間(当期)純利益		1 株当たり中間(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり中間(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
13 年 9 月中間期	73	(—)	9	46	—	—
12 年 9 月中間期	△24	(—)	△3	14	—	—
13 年 3 月期	80	(△76.6)	10	44	—	—

(注) 1. 持分法投資損益 13 年 9 月中間期 — 百万円 12 年 9 月中間期 — 百万円 13 年 3 月期 — 百万円

2. 中間期末のデリバティブ取引の評価損益 — 百万円

3. 会計処理の方法の変更 無

4. 売上高、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

(2) 連結財政状態

	総 資 産		株 主 資 本		株主資本比率		1 株当たり株主資本	
	百万円		百万円		%		円 銭	
13 年 9 月中間期	2,933		1,550		52.8		200 83	
12 年 9 月中間期	2,609		1,490		57.1		193 03	
13 年 3 月期	2,844		1,594		56.0		206 50	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期 末 残 高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
13 年 9 月中間期	3		△ 8		△52		335	
12 年 9 月中間期	△135		△ 83		△78		190	
13 年 3 月期	218		△222		△91		392	

(4) 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 1 社 持分法適用非連結子会社数 1 社 持分法適用関連会社数 1 社

(5) 連結範囲及び持分法の適用の異動状況

連結(新規) 1 社 (除外) 1 社 持分法(新規) 1 社 (除外) 1 社

2. 14 年 3 月期の連結業績予想 (平成 13 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日)

通 期	売 上 高		経 常 利 益		当 期 純 利 益	
	百万円		百万円		百万円	
	3,800		390		200	

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 25 円 91 銭

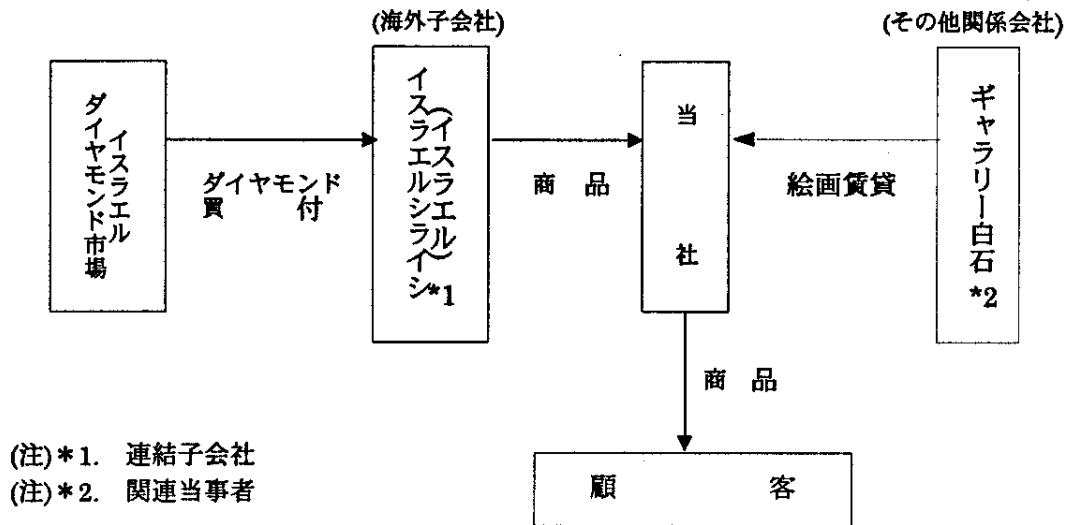
1. 企業集団等の概況

当社の企業集団は株式会社シーマ（当社）と子会社1社で構成され、「ブライダル事業」として店舗にて婚約指輪および結婚指輪などのブライダルジュエリーの販売を主な事業内容としております。

ブライダルジュエリーの販売は、以下の2ブランドで展開しております。

- ・ダイヤモンドシライシ、エクセルコ

事業の系統図



2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、「未来を拓く目と、輝く感性で新しい企業文化をクリエイトする」を企業理念として掲げております。

- ① 確かな商品と喜ばれるサービスを通じて、社会に貢献いたします。
- ② 高い美意識で文化を育み、社会に対して健やかな幸せを提案してまいります。
- ③ グローバルな視野で世界を捉え、悩める人があれば、喜んでそれを解消する活動を率先して行う企業として行動いたします。

人から人、心から心へクオリティーの高い本物の商品を通じて、ふれあいの輪を大きく広げてまいります。

(2) 中長期的な会社の経営戦略

当社が経営する直営店におきましては、多数のお客様からご好評を得ており、店舗キャパシティの限界まで営業に力を注いでおります。今後、既存の営業スタイルでプライダルマーケットのお客様を開拓していく施策を行いながら、より強いプライダル顧客獲得策を進めてまいります。

取扱商品のポテンシャルとしましては、非常に多岐にわたって販売ルートの選択肢があるため、百貨店等のビジネスも視野に入れた営業展開を進める所存です。

当社グループはダイヤモンドをイスラエル、ベルギーより直接仕入れ、特にイスラエルには子会社を設立し、安価で高品質な供給を可能にしております。今後、原石業界への参入も視野に入れ、ディーリングを通じて当社の業績向上の基盤になることを目標の一つとしております。

また、社内デザイナーと自社内クラフトマンが連携を図り、どのようなお客様のニーズでも叶えられる商品づくりを行っております。デザインコンテスト等により業界のチームリーダー的な存在になり、才能の求められる分野での仕事ができる企業の体制を速い段階で作り上げる方針です。

上記の基盤をもって、「高品質」かつ「リーズナブル」を武器に、全国規模で直営店、百貨店、卸販売等の展開を図り、業績向上を目指してまいります。

(3) 会社の対処すべき課題

このような情勢のもと、当社グループは長期的なイメージ戦略からタイムリーなスクラップアンドビルドの実施やお客様のニーズに合わせた品揃え、魅力ある店づくりなど、21世紀に向けての経営基盤の強化を行ってまいります。

3. 経営成績

1. 当期の概況

(1) 当期の業績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、好調を続けてきた米国経済の景気の減速傾向が明らかになり、政府の景気対策の不透明感から株式市況も低迷し、個人消費は回復の兆しが見られないまま推移いたしました。

ブライダルジュエリー業界におきましても、市場規模は減少傾向にあり、第2次ベビーブーム（団塊ジュニア世代）が20代後半に差し掛かっているにもかかわらず、男女ともに晩婚傾向にあり、さらに、長引く不況に婚姻数が伸び悩み、厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、新規3店舗を出店するとともに、ブランド展開をダイヤモンドシライシとエクセルコの2つに絞込みブランド力の強化、広告の強化に努めた結果、エクセルコブランドの売上が前年を大きく上回りました。また、百貨店の催事への積極的な参加を計画実施するなど、さらなる増収増益を図っております。

当中間連結会計期間の業績は、売上高1,968百万円、経常利益139百万円となり前年同期を上回る結果となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、売上高増加による営業収入の増加に対し新規出店支出等から、前連結会計年度末に比べ56百万円減、当中間連結会計期間末には335百万円となりました。

また、当中間連結会計期間中における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動による資金の増減は、殆どありません。

これは主に売上高の増加分を、仕入支出増・新規出店経費支出・法人税等の支出等に吸収されたことが要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動による資金の減少は、8百万円となりました。

これは主に、アルテカンの閉店による敷金の返戻金80百万円と名古屋店の増床及び横浜店・小倉店他新規出店による支出総額88百万円（敷金保証金を含む）の投資を実施していることによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動による資金の減少は、52百万円となりました。

これは主に、長期借入金の約定返済による支出99百万円、配当金の支払額115百万円等によるものであります。

2. 見通し

今後の見通しにつきまして、通期では、新規出店店舗が収益面において寄与することから、連結売上高38億円、連結経常利益3.9億円、連結当期純利益2億円を見込んでおります。

4. 中間連結財務諸表等

中間連結貸借対照表

(単位:千円)

期別 科目	当中間連結会計期間末		前中間連結会計期間末		前連結会計年度 要約連結貸借対照表	
	平成13年9月30日現在		平成12年9月30日現在		平成13年3月31日現在	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%		%
I. 流動資産						
1. 現金及び預金	335,391		190,958		392,053	
2. 売掛金	162,984		97,371		116,608	
3. たな卸資産	1,501,368		1,431,154		1,382,004	
4. 繰延税金資産	8,946		2,302		7,711	
5. 買建通貨オプション	7,944		—		—	
6. 繰延ヘッジ損失	4,736		—		—	
7. その他	27,281		23,059		25,591	
8. 貸倒引当金	△ 488		△ 475		△ 583	
流動資産合計	2,048,164	69.8	1,744,371	66.9	1,923,387	67.6
II. 固定資産						
1. 有形固定資産						
(1) 建物附属設備	166,269		155,852		126,754	
(2) 車両運搬具	1,280		1,880		1,523	
(3) 工具器具備品	161,446		161,408		156,922	
有形固定資産合計	328,996	11.2	319,140	12.2	285,200	10.0
2. 無形固定資産						
(1) ソフトウェア	60,437		27,609		71,547	
(2) 電話加入権	4,460		4,460		4,460	
無形固定資産合計	64,898	2.2	32,069	1.2	76,008	2.7
3. 投資その他の資産						
(1) 敷金保証金	477,677		502,407		544,610	
(2) 長期前払費用	14,164		11,150		15,221	
投資その他の資産合計	491,841	16.8	513,558	19.7	559,832	19.7
固定資産合計	885,735	30.2	864,768	33.1	921,040	32.4
資産合計	2,933,900	100.0	2,609,140	100.0	2,844,428	100.0

中間連結貸借対照表

(単位:千円)

期別 科目	当中間連結会計期間末		前中間連結会計期間末		前連結会計年度 要約連結貸借対照表	
	平成13年9月30日現在		平成12年9月30日現在		平成13年3月31日現在	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
		%		%		%
(負債の部)						
I.流動負債						
1.買掛金	72,555		80,439		60,097	
2.短期借入金	698,000		450,000		536,043	
3.1年以内返済定期借入金	199,200		199,200		199,200	
4.未払法人税等	59,211		1,206		68,300	
5.充建通貨オプション	1,422		—		—	
6.繰延ヘッジ利益	11,258		—		—	
7.その他	256,466		103,479		201,578	
流動負債合計	1,298,114	44.2	834,324	32.0	1,065,219	37.4
II.固定負債						
長期借入金	85,400		284,600		185,000	
固定負債合計	85,400	2.9	284,600	10.9	185,000	6.5
負債合計	1,383,514	47.2	1,118,924	42.9	1,250,219	44.0
(資本の部)						
I.資本金	515,100	17.6	515,100	19.7	515,100	18.1
II.資本準備金	274,000	9.3	274,000	10.5	274,000	9.6
III.連結剰余金	761,029	25.9	698,898	26.8	803,771	28.3
IV.為替換算調整勘定	256	0.0	2,217	0.1	1,338	0.0
資本合計	1,550,385	52.8	1,490,215	57.1	1,594,209	56.0
負債及び資本合計	2,933,900	100.0	2,609,140	100.0	2,844,428	100.0

中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間連結会計期間		前連結会計期間		前連結会計年度	
	自平成13年4月1日 至平成13年9月30日		自平成12年4月1日 至平成12年9月30日		要約連結損益計算書 自平成12年4月1日 至平成13年3月31日	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
		%				%
I. 売上高	1,968,206	100.0	1,707,288	100.0	3,610,200	100.0
II. 売上原価	850,737	43.2	766,840	44.9	1,519,533	42.1
売上総利益	1,117,468	56.8	940,448	55.1	2,090,666	57.9
III. 販売費及び一般管理費	973,804	49.5	931,321	54.5	1,859,511	51.5
営業利益	143,663	7.3	9,126	0.5	231,155	6.4
IV. 営業外収益						
1. 受取利息	43		48		558	
2. 為替差益	—		775		—	
3. その他	1,853		1,551		1,623	
営業外収益合計	1,897	0.1	2,375	0.1	2,182	0.1
V. 営業外費用						
1. 支払利息	5,985		8,926		14,546	
2. 為替差損	470		—		6,408	
3. その他	11		26		—	
営業外費用合計	6,467	0.3	8,952	0.5	20,954	0.6
経常利益	139,093	7.1	2,549	0.1	212,383	5.9
VI. 特別利益						
貸倒引当金戻入益	—		89		—	
VII. 特別損失						
1. 固定資産除却損	—		14,692		56,345	
2. 店舗閉鎖損失	9,500		—		—	
特別損失合計	9,500	0.5	14,692	0.9	56,345	1.6
税金等調整前(中間(当期)純利益)	129,593	6.6	△ 12,054	△ 0.7	156,038	4.3
法人税・住民税及び事業税	57,770		2,172		70,801	
法人税等調整額	1,235		△ 10,025		△ 4,616	
中間(当期)純利益	73,058	3.7	△ 24,252	△ 1.4	80,620	2.2

(注) △は損失を示す。

中間連結剰余金計算書

(単位：千円)

科目	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	前連結会計年度
	自平成13年4月1日 至平成13年9月30日	自平成12年4月1日 至平成12年9月30日	要約連結剰余金計算書 自平成12年4月1日 至平成13年3月31日
	金額	金額	金額
I. 連結剰余金期首残高	803,771	772,100	772,100
II. 連結剰余金減少高			
1. 配当金	115,800	38,600	38,600
2. 役員賞与	—	10,350	10,350
III. 中間(当期)純利益	73,058	△ 24,252	80,620
IV. 連結剰余金中間期末(期末)残高	761,029	698,898	803,771

(注) △は損失を示す。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	期別	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	前連結会計年度
		自平成13年4月1日 至平成13年9月30日	自平成12年4月1日 至平成12年9月30日	自平成12年4月1日 至平成13年3月31日
		金額	金額	金額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー				
営業収入		1,994,195	1,724,723	3,649,884
原材料又は商品の仕入支出	△	1,009,039	△ 779,043	△ 1,510,699
人件費支出	△	286,427	△ 298,750	△ 571,296
その他の営業支出	△	612,832	△ 674,642	△ 1,227,497
小計		85,896	△ 27,712	340,391
利息の受取額		43	48	523
利息の支払額	△	5,777	△ 8,926	△ 13,632
為替差益		—	775	—
為替差損	△	470	—	△ 6,408
その他の収入		1,229	1,551	1,629
その他の支出	△	10,892	△ 26	△ 5
法人税等の支払額	△	66,850	△ 100,744	△ 103,772
営業活動によるキャッシュ・フロー		3,178	△ 135,035	218,725
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出	△	65,305	△ 75,447	△ 96,058
無形固定資産の取得による支出		—	△ 4,500	△ 74,936
敷金保証金等の取得による支出	△	23,587	△ 32,553	△ 89,897
敷金保証金等の解約による収入		80,275	28,560	38,701
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	8,618	△ 83,941	△ 222,190
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金による収入		370,000	260,000	760,043
短期借入金の返済による支出	△	208,045	△ 200,000	△ 614,000
長期借入金の返済による支出	△	99,600	△ 99,600	△ 199,200
配当金の支払額	△	115,132	△ 38,400	△ 38,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	52,777	△ 78,000	△ 91,756
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額		1,554	—	△ 658
V. 現金及び現金同等物の増加額又は減少額	△	56,662	△ 296,976	△ 95,222
VI. 現金及び現金同等物の期首残高		392,053	487,934	487,934
VII. 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高		335,391	190,958	392,053

中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

以下、対象期間（年度）について特に断りのない限り、記載事項は当中間連結会計期間及び前連結会計年度において共通の事項であります。

1. 連結の範囲に関する事項

在外連結子会社 Israel Shiraishi, Ltd.

当社の子会社は、上記 Israel Shiraishi, Ltd. 1社であります。

2. 持分法の範囲に関する事項

非連結子会社及び関連会社がないため、該当事項はありません。

3. 連結子会社の中間決算日(決算日)等に関する事項

会社名	中間決算日	決算日
Israel Shiraishi, Ltd.	6月30日	12月31日

中間連結財務諸表の作成にあたっては、連結子会社の中間決算日(決算日)現在の中間財務諸表(財務諸表)を使用しております。なお、中間連結決算日(連結決算日)との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

4. 会計処理基準に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

① たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品

ダイヤモンドルース(裸石)・マリッジリング・メレ石

枠・地金・その他商品

貯蔵品

個別法による原価法

総平均法による原価法

最終仕入原価法

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法によっております。なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。在外連結子会社は所在地国の会計基準に基づく定額法によっております。

② 無形固定資産

定額法によっております。なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

ただし、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

③ 長期前払費用

均等償却によっております。なお、償却期間については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

(3) 外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権業務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社等の資産及び負債は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は資本の部における為替換算勘定に含めております。

(4) 重要な引当金の計上基準

貸倒引当金

一般債権については、貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(5) 重要なリース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引による方法に準じた会計処理によっております。

(6) 重要なヘッジ会計の方法

①ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理によっております。

②ヘッジ手段

選択権付予約

③ヘッジ対象取引

外貨建予定取引

④ヘッジ方針

ヘッジ対象の範囲内において変動する為替相場のリスクヘッジを目的にヘッジ取引を利用しております。

(7) 消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

5. 連結子会社の資産及び負債の評価に関する事項

連結子会社の資産及び負債の評価方法は、全面時価評価法によっております。

6. 連結調整勘定の償却に関する事項

連結調整勘定は発生した期の損益として処理しております。

7. 利益処分項目等の取扱いに関する事項

連結剰余金計算書は、連結会計年度の利益処分について連結会計年度の利益処分に基いて作成しております。

8. 中間連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期的な投資であります。

注記事項

(中間連結貸借対照表関係)

当中間連結会計期間末 平成13年9月30日現在	前中間連結会計期間末 平成12年9月30日現在	前連結会計年度末 平成13年3月31日現在
有形固定資産の減価償却累計額 220,412千円	有形固定資産の減価償却累計額 194,621千円	有形固定資産の減価償却累計額 192,918千円

(中間連結損益計算書関係)

当中間連結会計期間 自平成13年4月1日 至平成13年9月30日	前中間連結会計期間 自平成12年4月1日 至平成12年9月30日	前連結会計年度 自平成12年4月1日 至平成13年3月31日
販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は次のとおりであります。	販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は次のとおりであります。	販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は次のとおりであります。
広告宣伝費 300,538千円 給与手当 237,292 地代家賃 133,916 減価償却費 27,131	広告宣伝費 258,950千円 給与手当 194,060 地代家賃 140,620 減価償却費 23,335	広告宣伝費 544,065千円 給与手当 424,896 地代家賃 280,206 減価償却費 53,843
—	固定資産除却損の内訳は、次のとおり であります。 建物附属設備 9,449千円 工具器具備品 5,243 計 14,692千円	固定資産除却損の内訳は、次のとおり であります。 建物附属設備 21,931千円 工具器具備品 16,487 ソフトウェア 17,925 計 56,345千円

(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当中間連結会計期間 自平成13年4月1日 至平成13年9月30日	前中間連結会計期間 自平成12年4月1日 至平成12年9月30日	前連結会計年度 自平成12年4月1日 至平成13年3月31日
現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成13年9月30日現在)	現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成12年9月30日現在)	現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成13年3月31日現在)
現金及び預金勘定 335,391千円 現金及び現金同等物 335,391千円	現金及び預金勘定 190,958千円 現金及び現金同等物 190,958千円	現金及び預金勘定 392,053千円 現金及び現金同等物 392,053千円

(リース取引関係)

当中間連結会計期間 自平成13年4月1日 至平成13年9月30日	前中間連結会計期間 自平成12年4月1日 至平成12年9月30日	前連結会計年度 自平成12年4月1日 至平成13年3月31日
コンピュータ等の設備をリース契約により使用しておりますが、金額が僅少なため取引関係の記載は省略しております。	同左	同左

(有価証券関係)

前事業年度(平成13年3月31日現在)については、個別財務諸表等における注記事項として記載しております。

当中間連結会計年度(自平成13年4月1日至平成13年9月30日)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益)

ヘッジ会計が適用されているものについては、記載対象から除いております。

5. セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当中間連結会計期間(自平成13年4月1日 至平成13年9月30日)及び前連結会計年度(自平成12年4月1日 至平成13年3月31日)プライダル事業の売上高及び営業利益金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

2. 所在地別セグメント情報

当中間連結会計期間(自平成13年4月1日 至平成13年9月30日)及び前連結会計年度(自平成12年4月1日 至平成13年3月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

3. 海外売上高

当中間連結会計期間(自平成13年4月1日至平成13年9月30日)及び前連結会計年度(自平成12年4月1日至平成13年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

当中間連結会計年度 自平成13年4月1日 至平成13年9月30日	前中間連結会計年度 自平成12年4月1日 至平成12年9月30日	前連結会計年度 自平成12年4月1日 至平成13年3月31日
1株当たり純資産額 200円 83銭 1株当たり中間純利益 9円 46銭	1株当たり純資産額 193円 3銭 1株当たり中間純損失 3円 14銭	1株当たり純資産額 206円 50銭 1株当たり当期純利益 10円 44銭

(注)潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益の金額については、転換社債等の発行がないため記載していません。

(重要な後発事象)

当中間連結会計年度 自平成13年4月1日 至平成13年9月30日	前中間連結会計年度 自平成12年4月1日 至平成12年9月30日	前連結会計年度 自平成12年4月1日 至平成13年3月31日
当社の取引先である株式会社松菱(静岡県浜松市の老舗百貨店)は、平成13年11月14日静岡地裁浜松支部へ自己破産を申請し、同日破産宣告を受けました。当社の松菱に対する売上債権は、2,105千円であります。現在、破産手続が進行中のため、弁済額は未確定であります。上記債権額については、その大部分が回収できない事象が発生する可能性があります。なお、法の判断が明確になった時点で対応する予定であります。	—	—

6. 販売の状況

ブランド別売上高

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 自平成13年4月1日 至平成13年9月30日		前中間連結会計期間 自平成12年4月1日 至平成12年9月30日		前連結会計年度 自平成12年4月1日 至平成13年3月31日	
	売上高	比率	売上高	比率	売上高	比率
ダイヤモンドシライシ	1,499,135	76.2%	1,166,978	68.4%	2,523,507	69.9%
エクセルコ	440,672	22.4%	181,630	10.7%	466,663	12.9%
アルテカン	—	—	60,823	3.6%	152,739	4.2%
ジュエル銀座	—	—	102,766	6.0%	203,545	5.6%
ピーステーション	—	—	106,473	6.2%	228,613	6.3%
アンスリューズ	—	—	31,362	1.8%	31,833	0.9%
その他	28,398	1.4%	57,252	3.3%	3,297	0.2%
合計	1,968,206	100.0%	1,707,288	100.0%	3,610,200	100.0%